

土地の所在

高松市上林町字竹部5番1, 5番2の一部, 9番2, 10番1, 11番1, 12番1, 12番2, 13番1, 16番, 17番, 30番2の一部, 33番1, 33番2, 36番, 37番, 38番

土地利用計画図

開発許可
年月日

第 平成
| 年
| 月
| 日
号

申請者

株式会社ロータリーハウス
代表取締役 増元 竜彦

住所・氏名
作 製

高松市三条町式七八番地壹式
株式会社高松合同企画
土地家屋調査士・測量士 野田 明良



凡例

	面地番号
	面地面積 (m ²)
	計画高 (m)
	溶積350-VU150 10%以上 土被り0.60m以下-全巻保護
	排水溝 T-2以上
	連続排水溝-VU150 10%以上 土被り0.60m以下-全巻保護
	排水溝 T-14
	L型側溝
	1号雨水 T-14
	重圧管φ250-350・VU(R)φ250
	雨水管φ500 T-14
	重圧管φ250
	雨水管φ350-VU150 10%以上
	土被り0.60m以下-全巻保護
	給水管H1VP20・量水器
	水道管仕切弁
	流水方向
	申請区域

注記) 本管への接続は支管接続とする。
各区分における予定建築物は一律建ての住宅とする。
開発協議の対象は最終樹から一次放流先までとする。
管の交差部は7/7以上を10cm以上確保すること。
放流先の管は通常水包以上とする。
宅内排水管の土被りは20cm以上確保すること。
合併浄化槽の処理水は宅内最終排水を經由して放流すること。

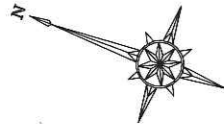


縮尺 1:300 (A1)
1:600 (A3)

土地の所在 高松市上林町字竹部45番

土地利用計画図 アップガーデン上林II (ロータリーハウス・ルーツ)

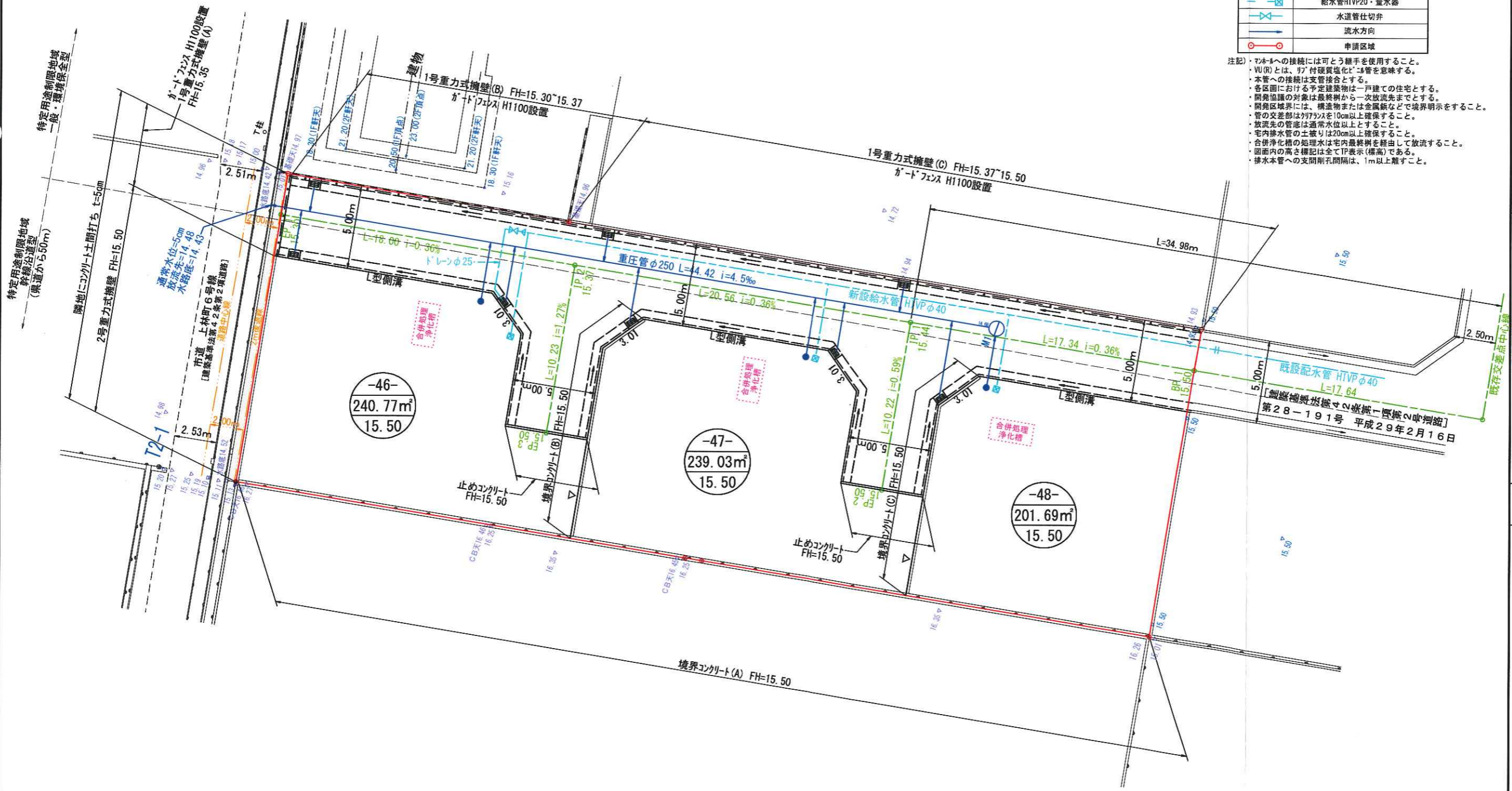
埋蔵文化財包蔵地に隣接(上林遺跡)



凡例

	面地番号
	面地面積(m ²)
	計画高(m)
	道路集水溝→VU150 10%以上
	土被り0.60m以下-全巻保護
	ガレージ等(ワイヤメ-50mm) T-14
	L型側溝
	1号マンホールφ900 T-14
	重圧管φ250
	雨水樹φ350→VU150 10%以上
	土被り0.60m以下-全巻保護
	給水管H1VP20・量水器
	水道管仕切弁
	流水方向
	申請区域

注記:
 ・マンホールへの接続には可とう継手を使用すること。
 ・VU(R)とは、R付付置強化ビニール管を意味する。
 ・本管への接続は支管接続とする。
 ・各区分における予定建築物は一戸建ての住宅とする。
 ・開発協議の対象は最終樹から一次放流先までとする。
 ・開発区域には、構造物または金属網などで境界明示をすること。
 ・管の交差部はカマラスを10cm以上確保すること。
 ・放流先の管底は通常水位以上とすること。
 ・宅内排水管の土被りは20cm以上確保すること。
 ・合併浄化槽の処理水は宅内最終樹を経由して放流すること。
 ・図面内の高さ標記は全てIP表示(標高)である。
 ・排水本管への支間開孔間隔は、1m以上離すこと。



開発許可
年 月 日

第 平成
| 年
| 月
| 日
号

申請者

株式会社ロータリーハウス・ルーツ
代表取締役 増元 竜彦

住所・氏名
作 製

高松市三条町式七八番地壹式
株式会社高松合同企画
土地家屋調査士・測量士 野田 明良

縮 尺

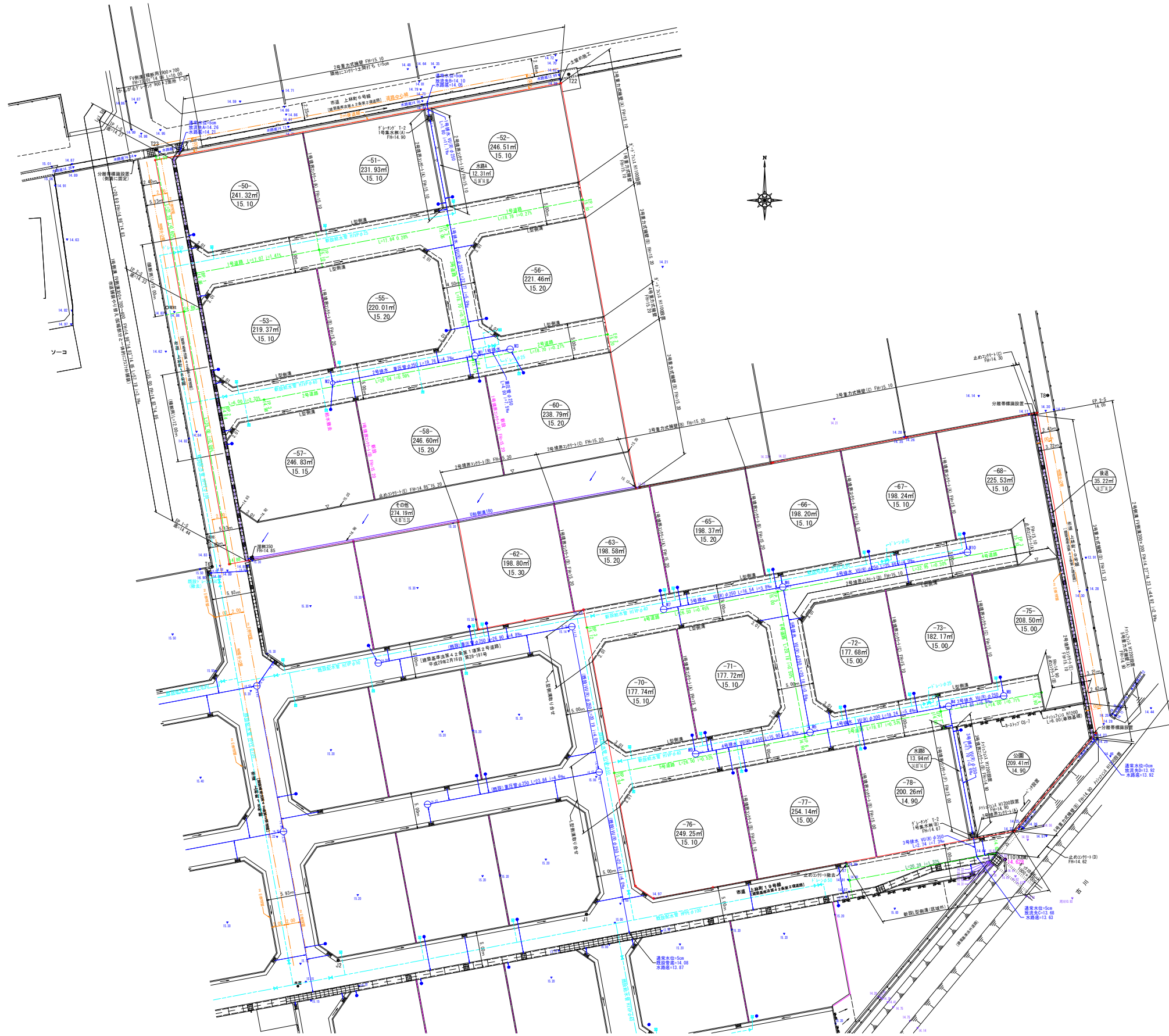
1 : 2 5 0

土地の所在

高松市上林町字竹部1番1, 4番, 6番, 8番, 9番1, 13番4, 15番

土地利用計画図

埋蔵文化財包蔵地外



凡例

	敷地建物
	道路集水幹線-W150 10%以上 土壌リ0.60m以下-全巻保護
	排水管 L型側溝
	1号水幹線φ900 T-14 埋設深さφ250 埋設深さφ250
	埋設深さφ600 T-14 埋設深さφ250
	雨水幹線φ350-W150 10%以上 土壌リ0.60m以下-全巻保護
	給水管H10P20・量水器
	水道管仕切弁
	流水方向
	排水区域

注記
 ・ワオキへの接続にはワオキを使用すること。
 ・ワオキとは、ワオキ製電機が主たる製造者である。
 ・本管への接続は支管接続とする。
 ・各敷地における予定建築物は一併建ての住宅とする。
 ・埋設配管の深さは敷地から一次放流先までとする。
 ・埋設配管には、構造物または金属類などで境界線を示すこと。
 ・管の交差部は管径の大きい管が上を通過すること。
 ・排水先の管理は通常水位以上とする。
 ・管内排水管の土盛りは20cm以上確保すること。
 ・全敷地内の排水管は必ず管継ぎを有して接続すること。
 ・図面内の高さ標記は全てIP表示(標高)である。
 ・排水幹線への支管接続間隔は、1m以上確保すること。
 ・ワオキ接続は浮上防止の汎用品を使用すること。

開発許可
年 月 日

第 令和
| 年
号 月
日

申請者

株式会社ロータリーハウス
代表取締役 増元 竜彦

住所・氏名
作 製

高松市三条町式七八番地宅式
株式会社高松合同企画
土地家屋調査士・測量士 野田 明良

縮 尺 1 : 3 0 0 (A 1)
1 : 6 0 0 (A 3)